

世界中が注目!!

ごみ焼却からの二酸化炭素を利活用

カーボンリサイクルで

地域を活性化!

～持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくりプロジェクト～

市の紹介

●佐賀市について

- ・人口約23万人の佐賀県県庁所在都市
- ・南は有明海、北は背振・天山山系に接し、中央部はクリークが縦横に巡る佐賀平野で形成



背景

●発端はごみ処理施設の統廃合

- ・2回にわたる市町村合併
- ・コストの削減を行うため、現在の佐賀市清掃工場にごみを集約する
- ・ごみ処理施設や下水処理施設は「迷惑施設」として嫌がられる
- ・生活上「ごみ」と「汚水」は発生し、処理が必要

資源やエネルギーを創出し
価値を生む歓迎施設へ!!



ごみ処理施設



下水処理場

現状の課題と目的

課題

- 農業人口の減少
- 若年層の人口流出
- カーボンニュートラルへの対応

目的

バイオマス資源の利活用や循環を図ることで

- ✓ 地場産業を強化、新たな産業・雇用の場を創出
- ✓ 温室効果ガスの排出抑制

経済性と環境性の両立

市民の幸福感を向上し、地元佐賀市への誇りを醸成!



「地域の廃棄物（バイオマス）が元の価値以上の資源となって 循環（アップサイクル）する社会」の構築

～二酸化炭素を資源として活用し、脱炭素・資源循環のまちづくりを進めます～

事業内容・
得られる
成果



事業内容：ごみ焼却ガスから
CO₂だけを回収して
農業者誘致に活用
CO₂濃度：純度 99%以上
成分規格：食品添加物グレード
生産(供給)可能量：**10t-CO₂/日**

現状 農業・藻類培養での利用



課題 利用目的が「光合成の促進」のため、
夜間・雨天時の利用がほとんどない。

“今後の展開領域（新たな活用策）”を模索

寄附の
用途

脱炭素のための**活性炭素**に使用します！

- 二酸化炭素の新たな活用法の検討・実証
(液化炭酸ガス、ドライアイス、超臨界抽出利用など)
- 二酸化炭素供給設備等にかかる費用
- 二酸化炭素の分離回収能力向上に関する技術開発や実証



COP24,25でも取
上げられました



CSR活動 の1つとしてPRできます！

- 株主やESG投資家、金融機関の**評価**、**投融資**を獲得
- 持続可能な**企業イメージ**が向上し、**人材の獲得**も優位に



フィンランド、タイ、
マレーシア、アメリカ
台湾などからも視察

佐賀市事例の地元展開で、**地域経済**と**社会**をけん引！

- 佐賀市事例の導入で、地元自治体や関連企業との**新たな関係を構築**
- 社会課題の解決と地域経済の発展に貢献する**地域の取り組みをリード**

**国内外から
視察、講演依頼！**

寄附を
する
メリット
等

【連絡先】 佐賀市 政策推進部 バイオマス産業推進課
電話番号：0952-40-7192
メールアドレス：biomass@city.saga.lg.jp



佐賀市役所
企業版
ふるさと
納税のHP

